

# その行為、危険です!



## やらない! 勧めない! ビンジドリンキング

**「ビンジドリンキング」=短時間に大量のお酒を飲むこと**

ビンジドリンキングとは、イッキ飲みなど短時間に大量の飲酒を行うことをいいます。本邦ではこれを「一度に純アルコール量60g(ビール1500ml)以上の飲酒」としています。ビンジドリンキングでは、急性アルコール中毒に陥る危険性が高くなり、個人差はありますが、脳の呼吸・循環中枢の抑制や嘔吐による窒息等で死亡に至ることもあります。転落事故・交通事故・喧嘩や暴力・性被害等の危険性も高くなります。特に若年者でその危険性が高いことが知られています。また、飲酒を強要することはアルコール・ハラスメントになります。日本人の約40%は遺伝的にアルコールに弱い・アルコールが飲めない体質です。体質や意向に配慮せずに飲酒を強要し死亡させた場合、飲ませる側に傷害致死罪が適用される可能性があります。一人でも多くの人が危険な飲酒による被害にあわない社会をつくるために、こちらの啓発ポスターをぜひ御活用ください。



詳しくはこちら



お酒を楽しむ時の  
**POINT**

料理と会話で  
ゆっくりと



水やノンアルコール飲料  
と交互にね



健康寿命をのぼそう  
SMART LIFE PROJECT

ひとくらし、みらいのために  
厚生労働省  
Ministry of Health, Labour and Welfare